

いのちをつなぐ

SARAYA

HC-8000

組立手順

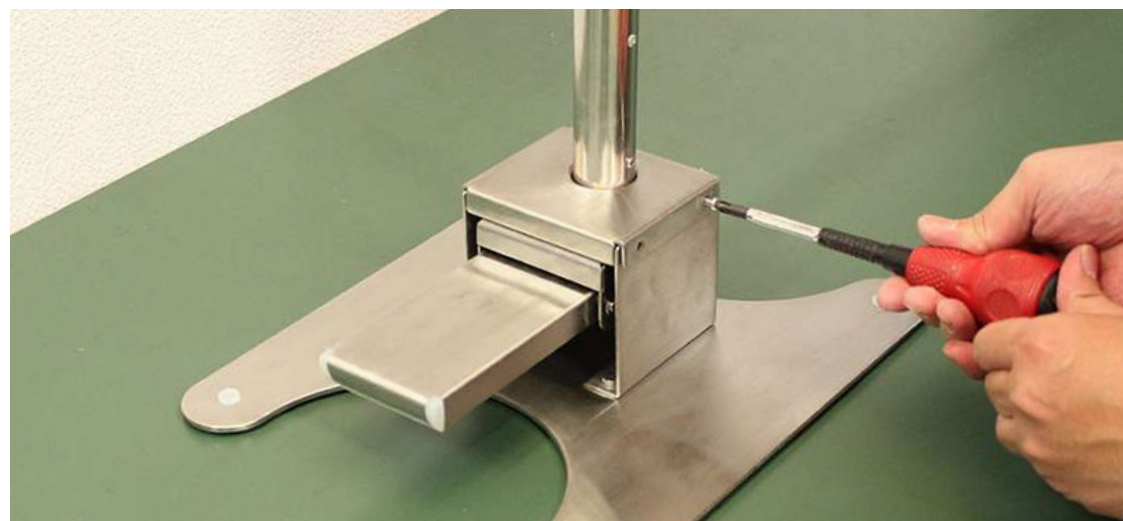
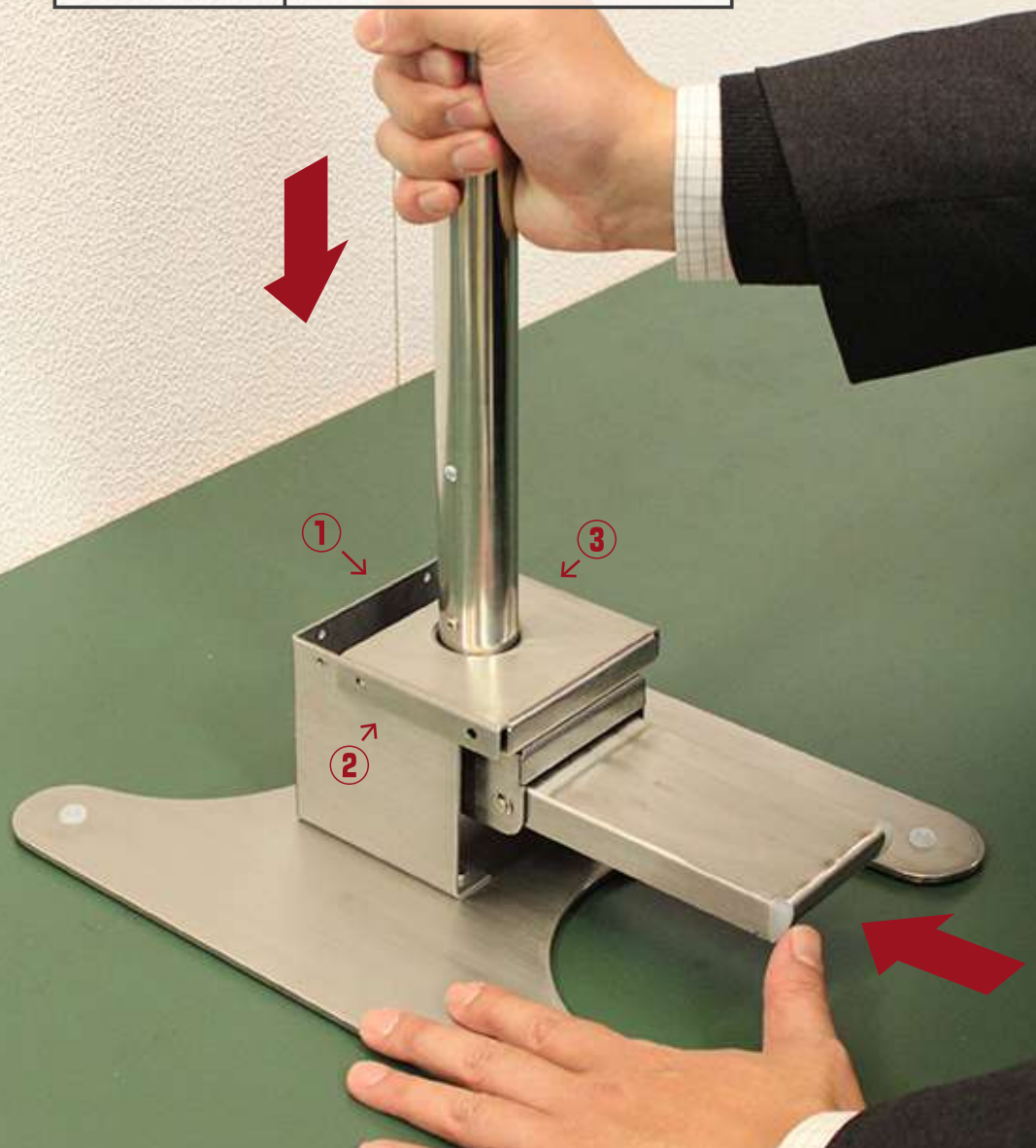
- 1) 本体の組立て
- 2) 薬液のセット(及び交換)
- 3) 完了



本コンテンツは、サラヤ株式会社・東京サラヤ株式会社ならびに関係会社における教育ツールの一環として制作されたものであり、許可の無い使用および転載、その他一切の権利を侵害する行為を禁止します。

HC-8000

本体の組立て



架台に本体(ペダル側支柱)をはめ込み、ネジ(M4×6)6本を①②③面の順番で仮止めし、側面のネジ②③を本締め後、最後に背面①を本締めします。

HC-8000

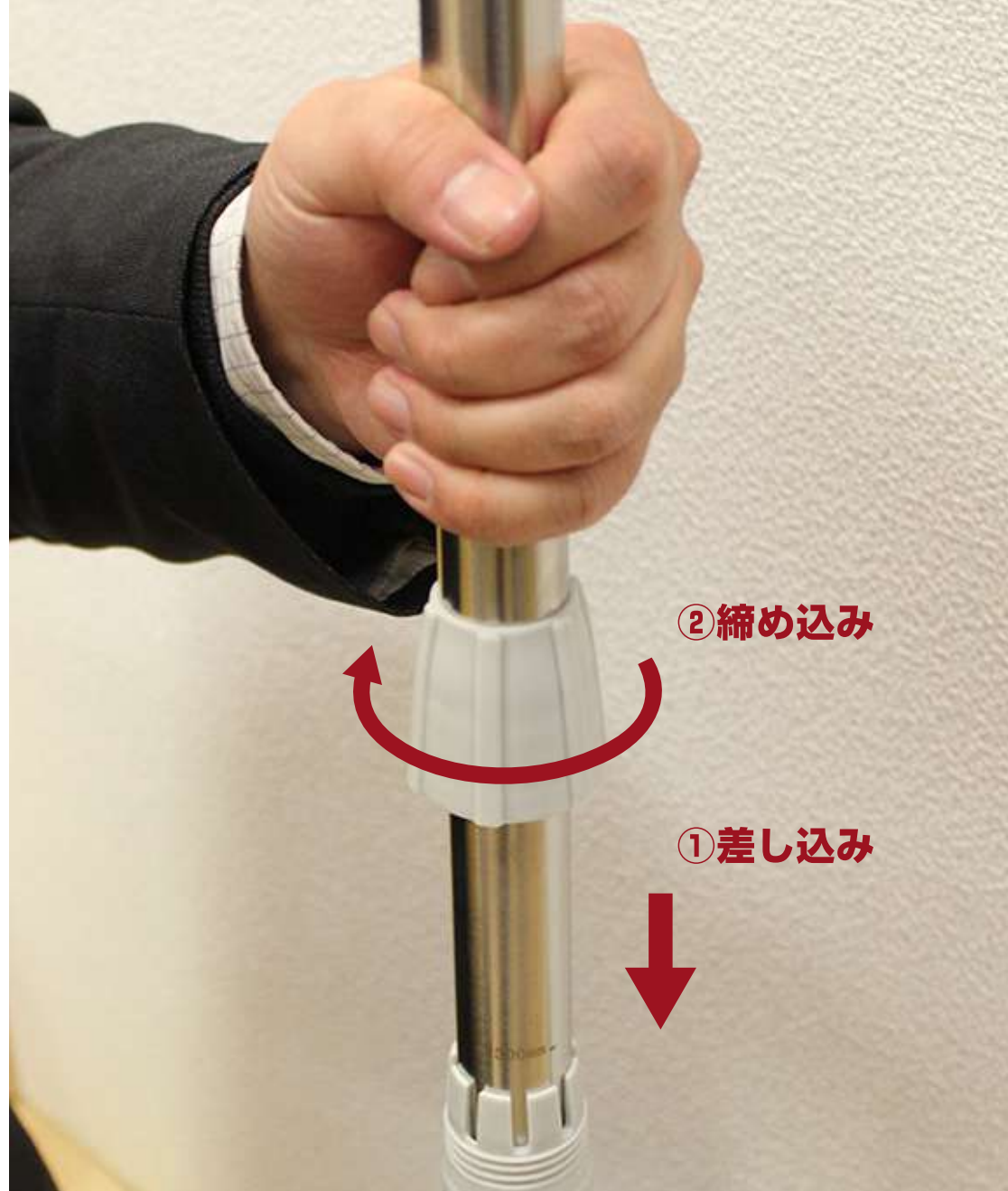
本体の組立て



ペダル側支柱組立品からボトル受け固定ナットを外し、ボトル側支柱に差し込みます。

HC-8000

本体の組立て



ペダルと薬液ボトルの向きを揃えながら、ボトル側支柱の角管がペダル側支柱組品の角管の中に入るように差し込み、ボトル受け固定ナットを締め込みます。

HC-8000

本体の組立て



手洗い



- 1 ペダルを踏むとノズルから石けん液が吐出します。
- 2 石けん液を、手のひらに受けてください。
- 3 よくあわ立てて手の甲、指の間、指先を洗ってください。

手指消毒



- 1 ペダルを踏むとノズルから速乾性の消毒液が噴射します。
- 2 指先を立てて消毒液を、手のひらに受けてください。
- 3 手の甲、指の間、指先に乾くまで擦り込んでください。

手洗い



1 ペダルを踏むとノズルから石けん液が吐出します。

2 石けん液を手のひらに受けてください。

3 よくあわ立てて手の甲、指の間、指先を洗ってください。

手指消毒



1 ペダルを踏むとノズルから速乾性の消毒剤が噴射します。

2 指先を立てて消毒剤を、手のひらに受けてください。

3 手の甲、指の間、指先に乾くまで擦り込んでください。

薬液吐出部分の上部背面に位置するパネルに、任意のラベル(石けん用:2種類、消毒用:2種類、計4枚付属)を貼付けます。

HC-8000

本体の組立て



パネルのツメを本体に引っ掛けるようにして、パネルを本体に取り付けます。

HC-8000

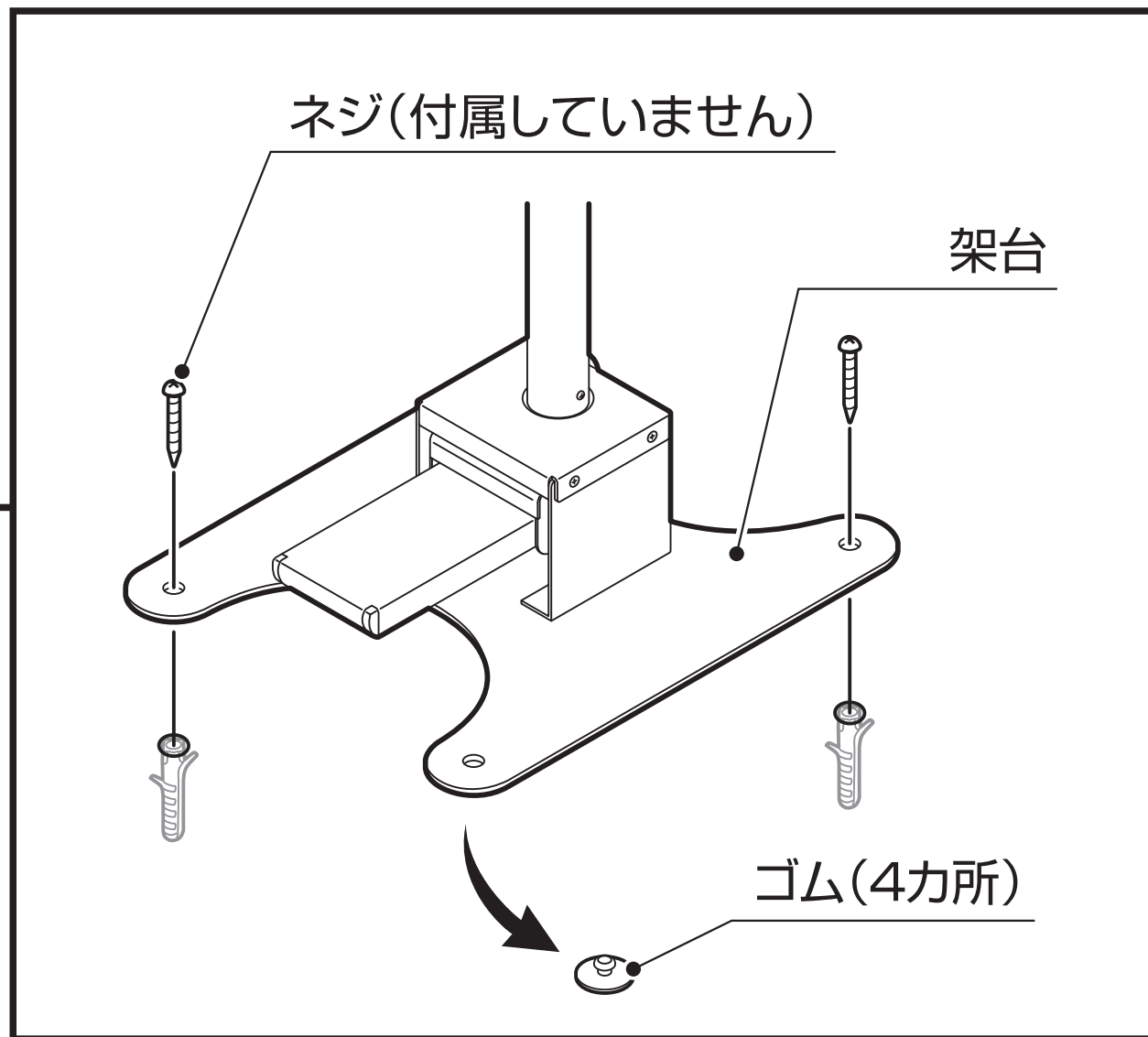
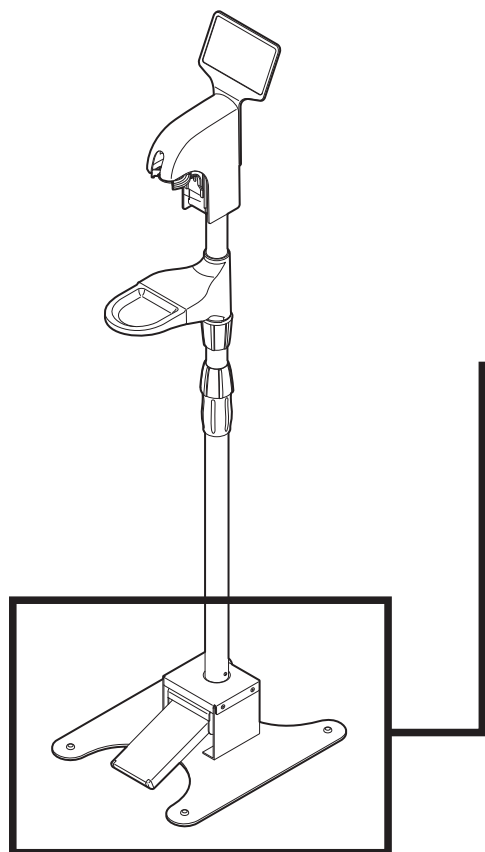
本体の組立て



本体にトレーを取り付けます。

HC-8000

本体の組立て



床面へ固定する場合は、マイナスドライバー等で架台のゴムを押して外し、架台の穴径(φ8mm)と合ったネジを使用して、4カ所全て固定します。

HC-8000

薬液のセット(及び交換)

カバー

ボトル受け

ボトル受け固定ナット

薬液吐出部分のカバーが止まる位置まで上げ(引っ張りすぎるとカバーが外れたり、破損の恐れがあるので注意)、ボトル受け固定ナットをゆるめて、ボトル受けも下げます。

HC-8000

薬液のセット(及び交換)



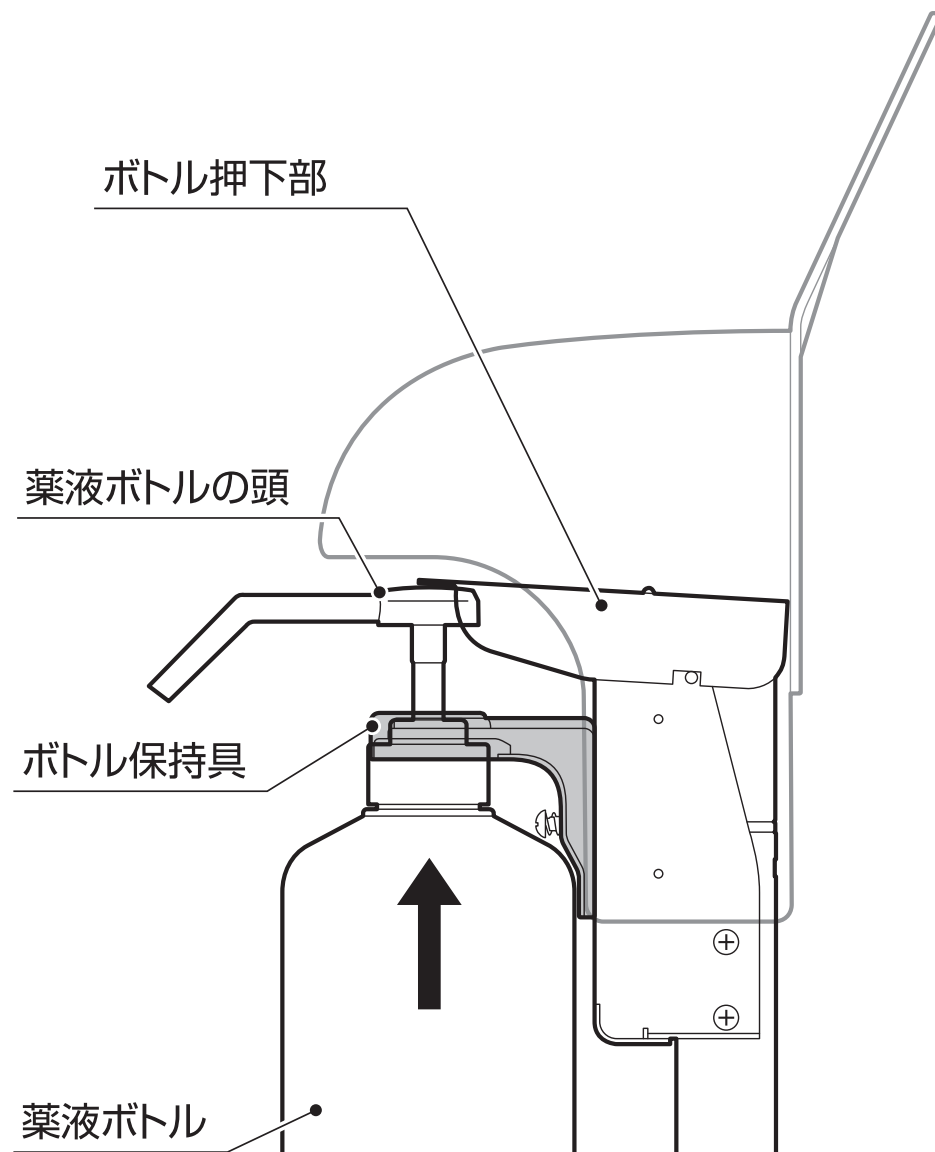
※撮影のため、カバーを外しています。

ボトル押下部

薬液ボトルの頭

ボトル保持具

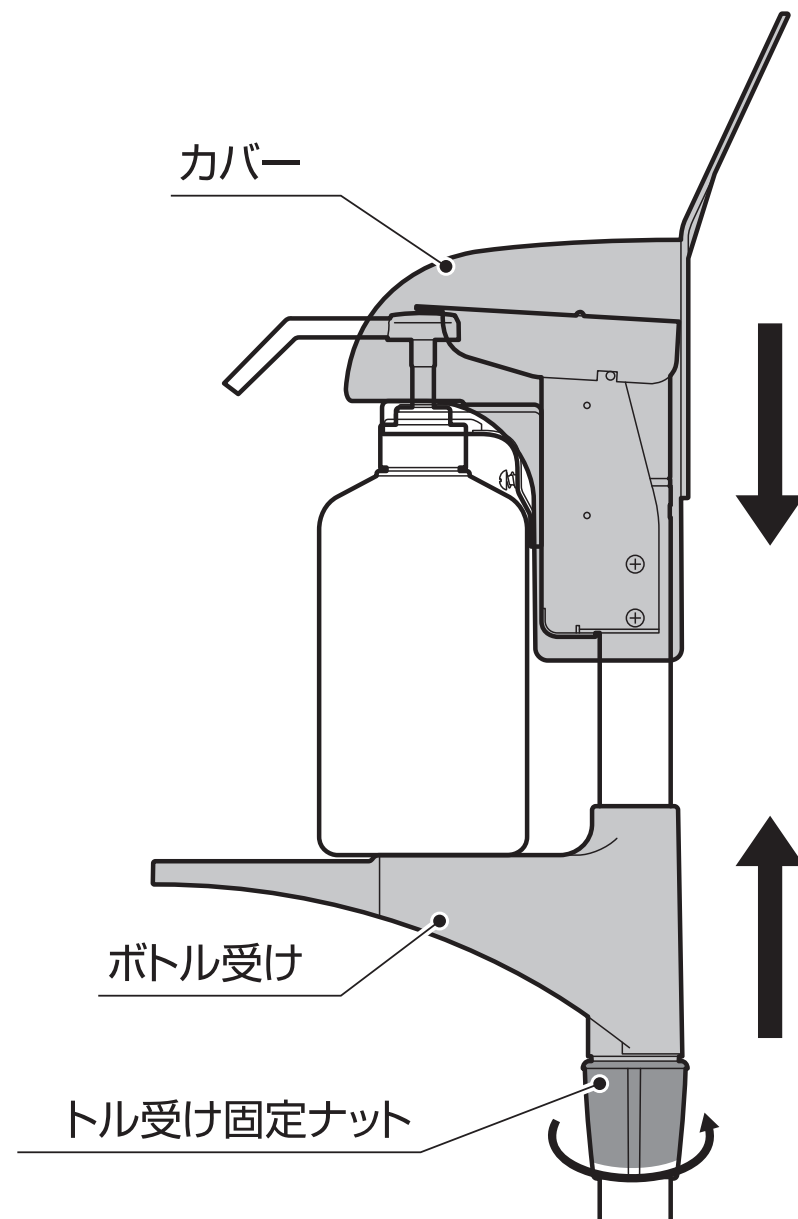
薬液ボトル



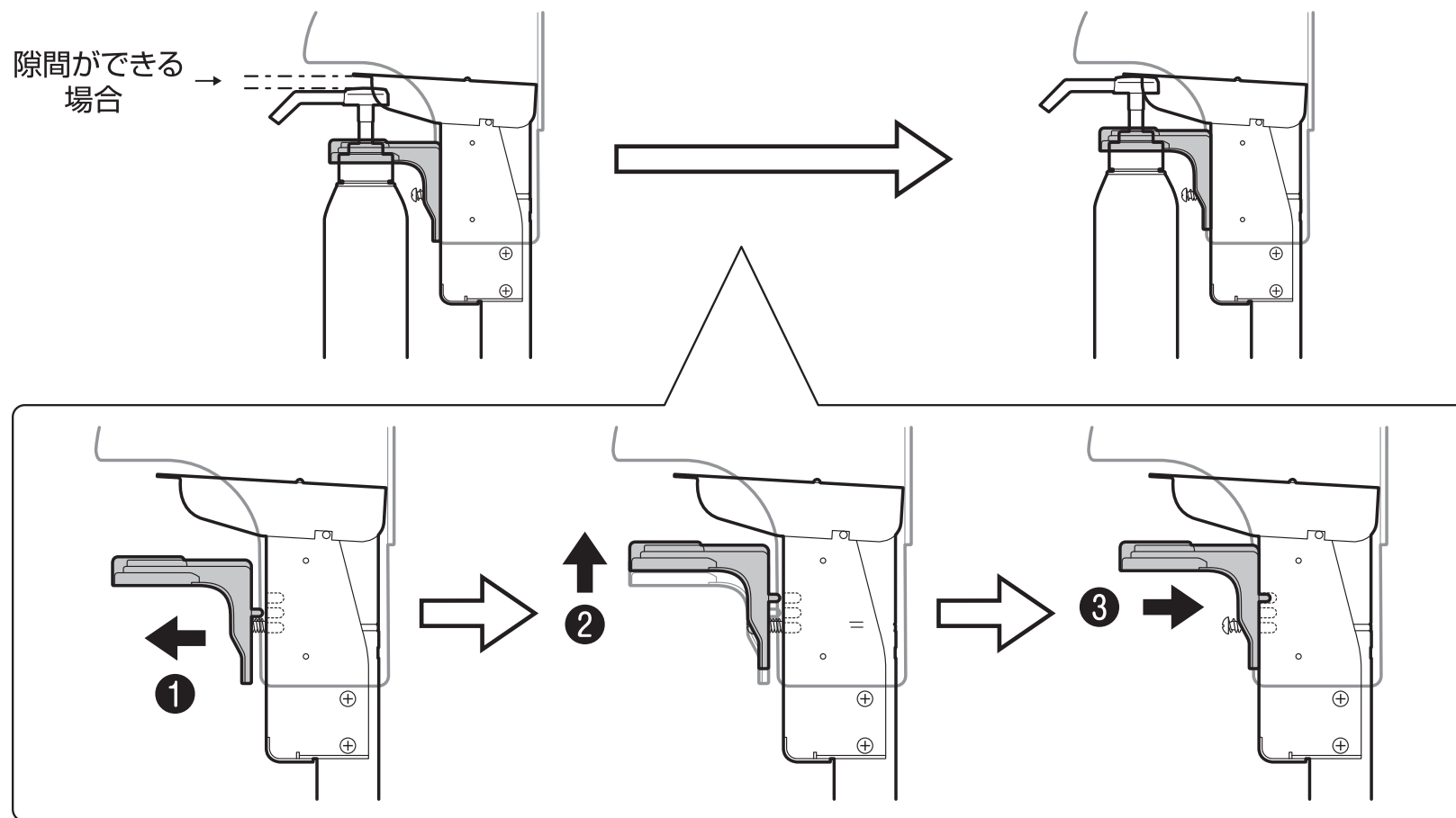
ボトル保持具に薬液ボトルを合わせます。

HC-8000

薬液のセット(及び交換)



薬液ボトルが固定される位置までボトル受けを上げてボトル受け固定ナットを締め、カバーを下げます。

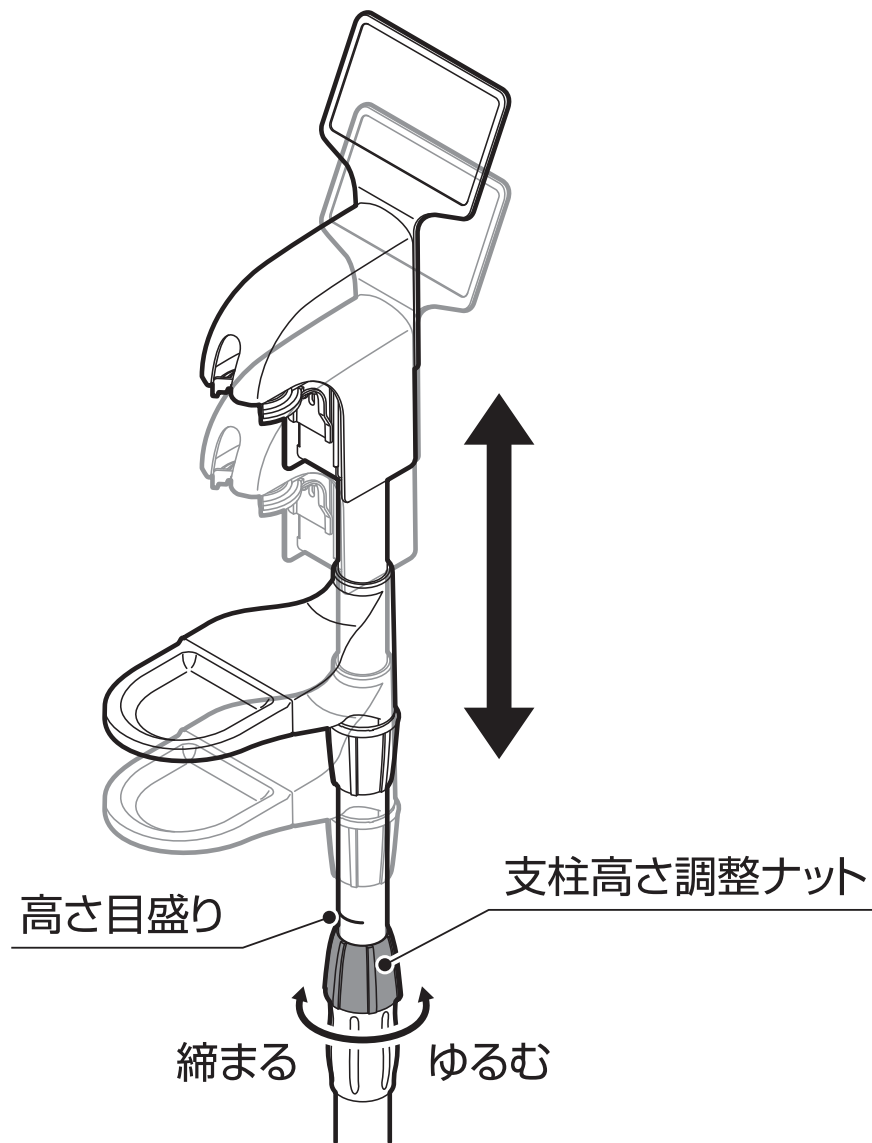
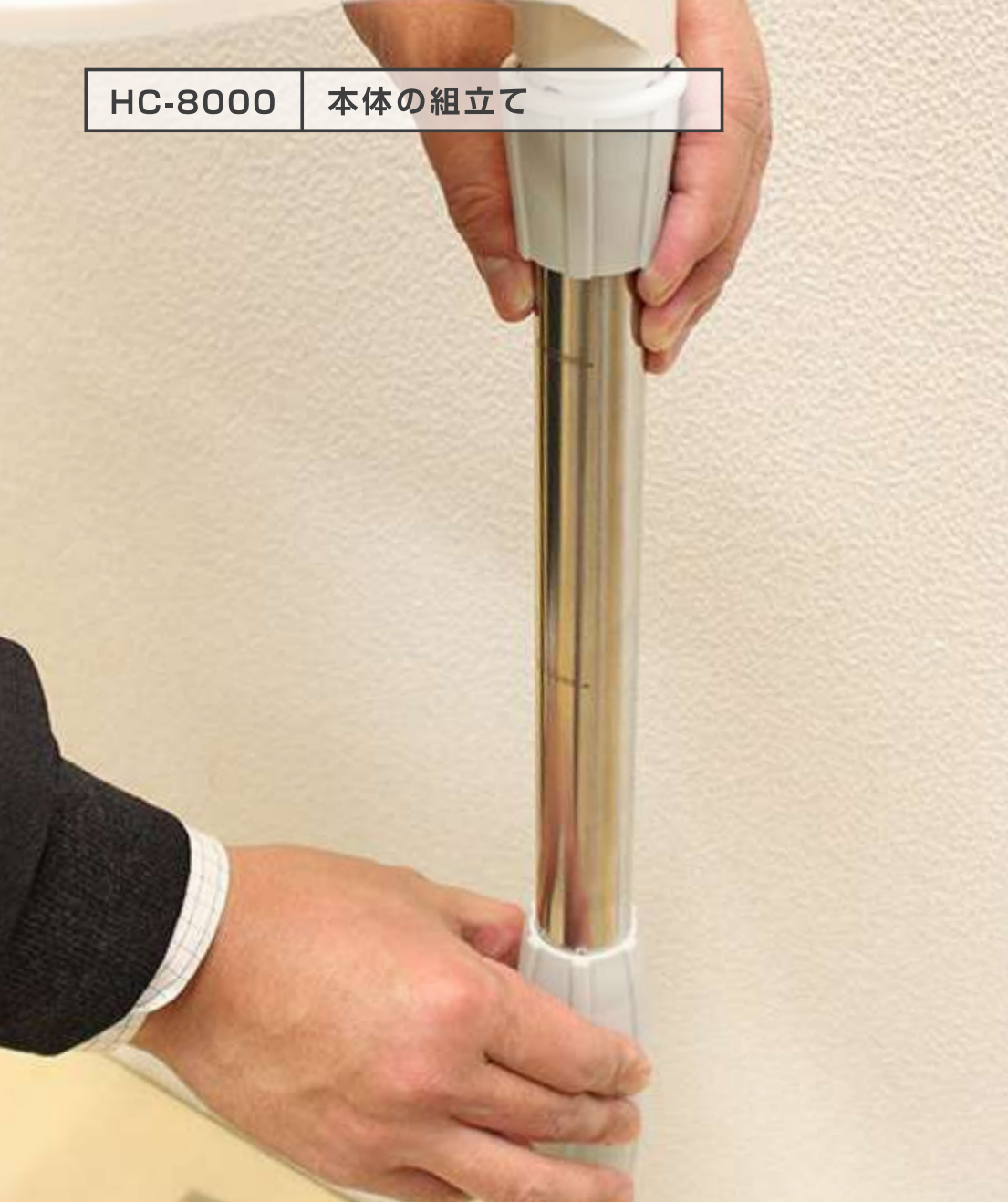


- ① ボトル保持具を手前に引っ張ります。
- ② 引いた状態のまま、突起部分が上(または下)の穴に入る位置に移動させます。
- ③ ボトル保持具を差し込みます。

ボトル保持具と薬液ボトルの上部に隙間がある場合は、ボトル保持具の高さを調節します。

HC-8000

本体の組立て



高さを調整する際は、支柱高さ調整ナットをゆるめて目盛を参考に調整し、調整ナットを締めて固定します。

HC-8000

本体の組立て



消毒液タイプ



石けん液タイプ



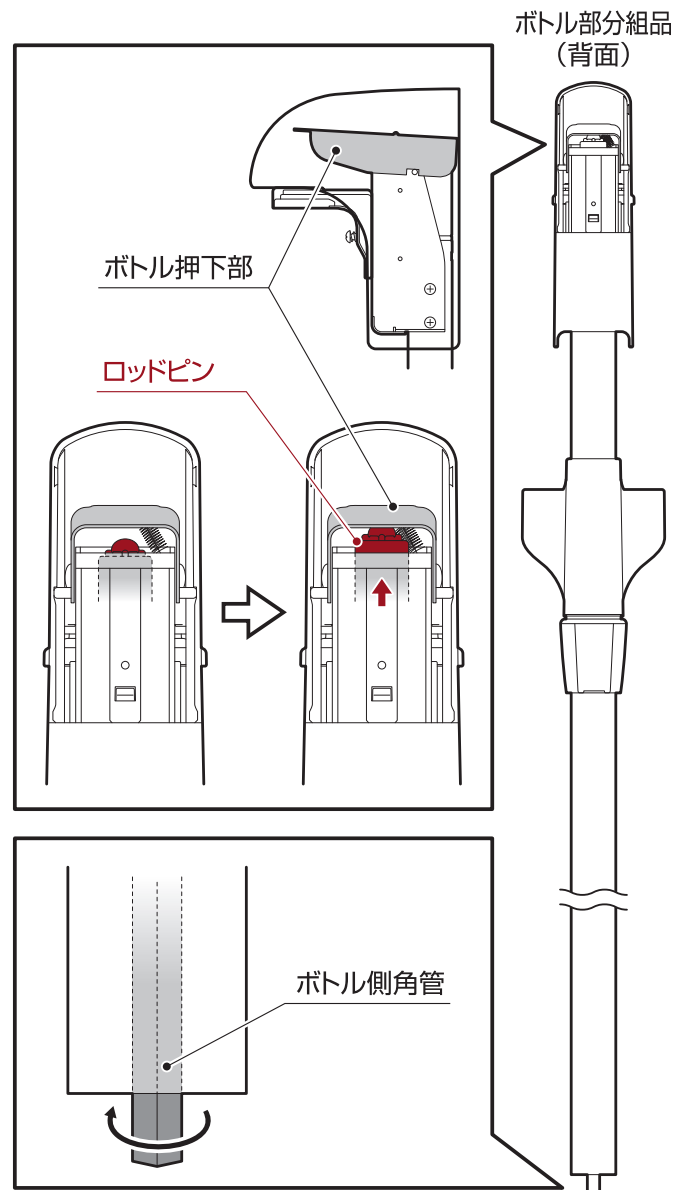
ペダルを踏んで薬液が吐出するか確認します。

HC-8000

本体の組立て



正常な薬液吐出量に設定するため、ロッドピンはボトル押下部に触れたら、それ以上は上げないようにします。



薬液が吐出しない場合は、組立と逆の手順でペダル側支柱組品からボトル側支柱を抜いてパネルを外し、ボトル支柱の角管を回してロッドピンがボトル押下部に触れるまで調整します。

HC-8000

完了

いのちをつなぐ

SARAYA

以上で作業は終了です。

作業スペースを清掃し、忘れ物に注意しましょう。